

計画（案）のポイント

1 前提

これまでの議論で作成された「骨子案」及び、「提言書」をベースに、以下の観点、意見等を反映し、作成。

- パブリック・コメント（以下「パブコメ」という。）で頂いた観点、意見等
- 市会に骨子案を報告した時に頂いた観点、意見等
 - ・ 数値目標、成果指標をもった、費用対効果のある計画策定
 - ・ 行政情報の効果的な発信と市民の意見の効果的な行政反映
 - ・ 男女共同参画の視点
 - ・ 職員の地域活動への参加の推進、地域におけるコーディネーター的役割
 - ・ SDGs を背景にした公民連携の挑戦的な推進
- 第3回フォーラム会議以降に、京都市から対外的に発信された、政策的な視点（持続可能な行財政改革）及び、令和3年度予算政策的新規事業（公民連携・課題解決推進事業 等）

2. 構成と項目毎のポイント

※ 網掛けがこれまで議論に付されていない新しい項目のため、特に御意見を頂きたい部分。

項目	資料作成方針	新規に追加した点
第3期京都市市民参加推進計画の全体像	骨子案で作成した全体構成図を引き続き記載。	各項目内容へのリンク（ページ番号）を記載。
第1章	骨子案及び提言書の内容を元に再構成。	<ul style="list-style-type: none"> ・パブコメで言葉遣いや専門用語が難しいとの意見に対応し「凡例」ページを新たに追加。【P3ほか】 ・用語の説明だけではわかりにくい言葉や考え方を「コラム」形式で追記。
1 計画策定の趣旨・考え方		
2 計画の位置づけ及び計画期間		
3 社会情勢の変化		
第2章	行政の取組部分は新規項目。評価部分は提言書を元に記述。	進捗していることが分かりやすいように、参考に定量的指標の表を記載。
1 第2期計画(改定版)の取組状況		
2 各基本方針の取組状況	提言書で議論された「成果と課題」を元に構成。大きく変更なし。	<ul style="list-style-type: none"> ・用語の説明だけではわかりにくい言葉や考え方を「コラム」形式で追記。 ・「計画を読んだ市民が市民参加したくなった時の情報が必要」とのパブコメを反映して「みんなでつくる京都」HPリンクを追記。

項目	資料作成方針	新規に追加した点
<p>3 調査・分析</p> <p>(1) 第2期計画（改定版）の進捗管理・分析</p> <p>(2) 市政総合アンケート</p> <p>(3) 有識者ヒアリング</p>	<p><u>新規項目</u></p> <p>過去4年間のフォーラムの議論の成果，市政総合アンケート結果，有識者ヒアリング内容を元に再構成。</p>	<p>これまでの取組状況と新しい計画の考え方のエビデンスとして調査した事項を記載。【P9～13】</p>
<p>第3章</p> <p>1 目指す未来像と基本方針</p>	<p>骨子案を元に構成。大きく変更なし。</p>	
<p>2 策定のポイント</p> <p>～重視する視点，指標～</p>	<p>「重視する視点」は，骨子案を元に構成。大きく変更なし。</p> <p>第2期計画から変更する，大きな違いとして本項目を「目指す未来像と基本方針」と独立したページとして構成する。</p>	<p>・修飾語が多用されて一文が長すぎるといふパブコメの意見を受け，「目指す地域社会の姿」を2分割。</p> <p>・財政的観点から成果指標と効果測定¹の指標を追加。【P15～16】</p> <p>・重視する視点に関する取組で特に意識すべき数値等²を示して，PDCAで質を高める施策運営につながるよう誘導する。</p>
<p>第4章</p> <p>1 基本方針1</p> <p>市民との未来像・課題の共有</p>	<p>施策の構成，内容は，骨子案を基に構成。大きく変更なし。</p> <p>・各施策の関係や位置づけを理解しやすくなるよう，各基本方針の項目トップに，全体図の基本方針部分を再掲する。</p>	<p>・施策例を新たに記載。【P17～32】</p> <p>（主に以下凡例をもとに記載）</p>
<p>2 基本方針2</p> <p>市民の市政への参加の推進</p>		<p>提…提言書で示唆された施策の工夫を元にした施策例。</p>
<p>3 基本方針3</p> <p>市民のまちづくり活動の活性化</p>		<p>パ…パブコメの意見を元にした施策例</p> <p>政…政策的判断（行財政改革，新規充実事業）を元にした施策例。</p>
<p>4 計画を着実に進めるための推進体制</p>		<p>・用語の説明だけではわかりにくい言葉や考え方を「コラム」形式で追記。</p>